

KDLスタッフが選ぶ！ 今月のおすすめ資料



2024 August

ニュースに度々目にするイスラエル・パレスチナ紛争は、長年続いている。ロシアのウクライナ侵攻は2022年から始まり、現在も進行中。他にもミャンマー内戦、アフガニスタン紛争、シリア内戦、イエメン内戦、そして最近のバングラデシュの抗議活動…

世界で多発する紛争は、歴史的・政治的・宗教的な背景があるため、わたしたちにとっては容易に理解し難い。これらの作品を切り口として手に取って、一緒に考えてみましょう。

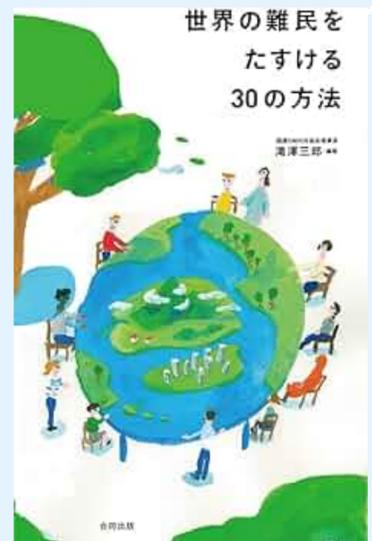
1993年、ガザ地区を訪れた古井みずえ監督は、当時23歳のパレスチナ人女性、ガーダに出会った。本作品は、その後の12年間にわたり、ガーダとその周囲の人々の生活を記録したドキュメンタリーである。



『国民国家と差別が関係あるの?』という章では、ヨーロッパにおけるユダヤ人迫害やイスラエル・パレスチナ紛争の成り立ちについてわかりやすく解説している。ついでに、国のあり方や日本がどんな国なのかについても読んで考えてみない?



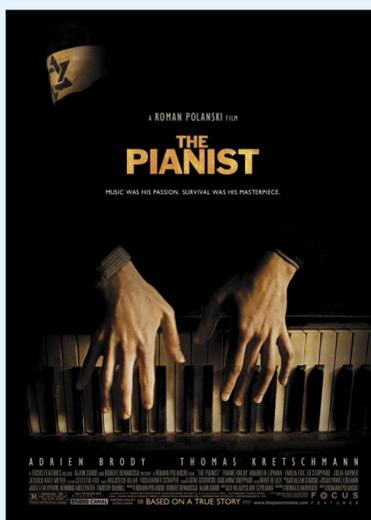
国連によると、2024年5月の時点で、紛争や迫害によって故郷を追われた人の数は1億2,000万人に達している。その人々のことについて考えてみよう。



1895年から50年間続いた日本統治時代の台湾で発生した、先住民族であるセデック族による抗日蜂起『霧社事件(むしゃじけん)』を描いた大作。



ナチスドイツ侵攻下のポーランドで生きた実在のユダヤ人ピアニスト、ウワディスワフ・シュピルマンの自伝を映画化した『戦場のピアニスト』。日本語の吹き替えや字幕はないけれど、英語で原作そのまま楽しめる。挑戦してみたい方はぜひ!



ナチスの迫害から多くのユダヤ人を救った実在の人物、ドイツ人実業家、オスカー・シンドラの感動的な物語。時代的大混乱の中、一人の人間ができることは何だろうか?

